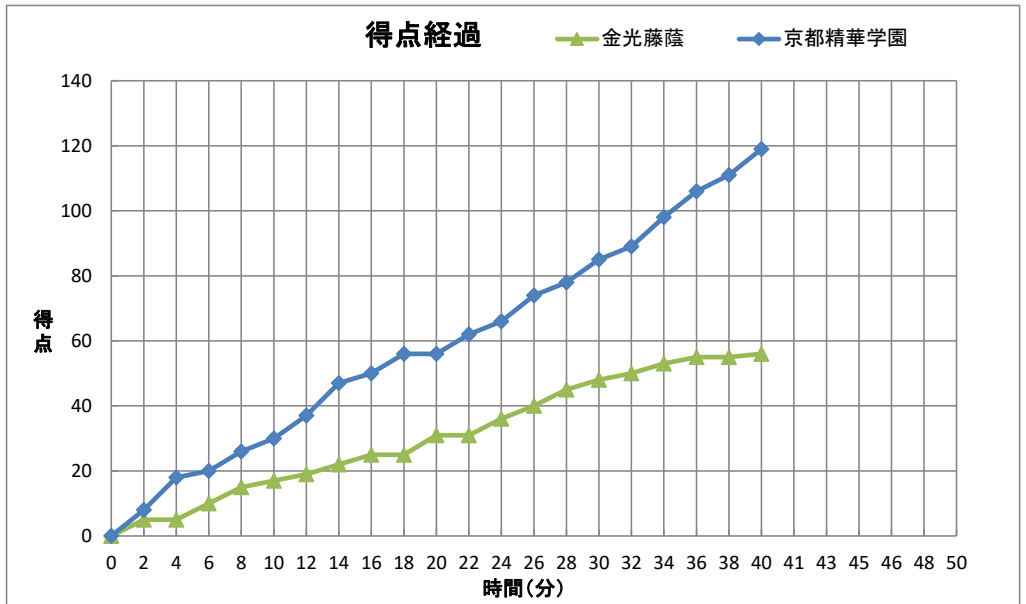




令和4年度  
第33回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

女子		2月18日		16:05 開始													
準々決勝		滋賀ダイハツアリーナ		C													
金光藤蔭	56	<table border="1"> <tr><td>17</td><td>1st</td><td>30</td></tr> <tr><td>14</td><td>2nd</td><td>26</td></tr> <tr><td>17</td><td>3rd</td><td>29</td></tr> <tr><td>8</td><td>4th</td><td>34</td></tr> </table>	17	1st	30	14	2nd	26	17	3rd	29	8	4th	34	119	◎	京都精華学園
17	1st	30															
14	2nd	26															
17	3rd	29															
8	4th	34															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
0	前田 心海	0	0	0	0	0	* 4	堀内 桜花	3	0	1	1	2				
7	中田 亜寿香	1	0	0	1	0	* 5	八木 悠香	12	0	5	2	0				
9	深谷 穂乃香	-	-	-	-	-	* 6	川地 汐夏	5	1	1	0	0				
10	香川 すみれ	-	-	-	-	-	7	山西 凜愛	0	0	0	0	0				
17	濱田 雅	0	0	0	0	1	8	塚口 珠妃	0	0	0	0	0				
* 24	橋本 里菜	5	1	1	0	0	9	大田 紅葉	0	0	0	0	0				
* 25	福田 優奈	27	5	6	0	1	10	高井 星	0	0	0	0	0				
* 30	松田 愛子	0	0	0	0	1	11	雁瀬 梓	-	-	-	-	-				
* 31	渡邊 莉杏	8	2	1	0	4	12	土屋 あかり	-	-	-	-	-				
* 38	天野 みやび	15	2	4	1	4	13	松居 かなで	0	0	0	0	0				
87	西村 蒼衣	0	0	0	0	2	14	林 咲良	6	1	1	1	0				
		-	-	-	-	-	* 15	マイアロ シェンカ フリホビキ エレ	59	0	29	1	1				
		-	-	-	-	-	16	橋本 芽依	25	5	5	0	0				
		-	-	-	-	-	* 17	桃井 優	3	1	0	0	2				
		-	-	-	-	-	18	ニキフ ボランレ アイシャット	6	0	3	0	1				
コーチ	上森 由貴					0	コーチ	山本 綱義					0				
Aコーチ	吉村 浩一						Aコーチ	中川 瀬名									
合計		56	10	12	2	13	合計		119	8	45	5	6				
主審: 鈴木 恵里奈																	
副審: 太田 令菜																	
副審: 杉山 栄規																	



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	3:33	14:32	26:34	34:24	38:30	:	:	:	:
TeamB	:	:	:	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕  
 近畿高等学校バスケットボール新人大会準々決勝、金光藤蔭高校対京都精華学園高校の一戦。  
 第1Q、金光藤蔭#24、25、30、31、38、京都精華#4、5、6、15、17で試合開始。京都精華はハーフコートマンツーマンディフェンス、高さで劣る金光藤蔭はゾーンディフェンスでスタート。京都精華は#4のボール運びから#15の高さを生かしたプレーで着実に点数を重ねていく。金光藤蔭は#25のスリーポイントを中心に果敢に攻撃を組み立てるが京都精華#15のブロックショットなどにより、リズムを掴みきることができない。点差はなかなか縮まらず、金光藤蔭17-30京都精華で第1Q終了。  
 第2Q、金光藤蔭はメンバー変わらず、京都精華は#4、5、14、16、18でスタート。金光藤蔭は引き続きゾーンディフェンスでインサイドを固め、スクリーンを上手く使ったオフェンスで#25の3Pを演出する。高さとしピードを生かした京都精華の流れを止めたい金光藤蔭であるが、残り2分で京都精華はチームファウル0、金光藤蔭は4と、ファウルにも苦しめられる。#25、#31の3Pで対抗するも点差は開き、金光藤蔭31-56京都精華で第2Q終了。  
 第3Q、両チームともスターティングメンバーに戻して試合開始。金光藤蔭はカッティングと巧みなパスで見事にチャンスを作り出すが、得点には至らない。京都精華はさらに勢いに乗ったスピード感のあるプレーで得点を重ねていく。インサイドの守りを固め、激しいディフェンスで京都精華の流れを止めたい金光藤蔭であるが、京都精華のバランスの良いオフェンスを止めることは難しく、残り3分でたまたらタイムアウト。その後も点差はじわじわ開き、金光藤蔭48-85京都精華で第3Q終了。  
 第4Qも両チームスターティングメンバーで開始。金光藤蔭は変わらずゾーンディフェンスでインサイドへのパスを警戒するが、#4の正確なパスや、#5のドライブからの巧みなパスでフリーになった#15のショットを阻止することができない。残り5分、金光藤蔭53-101京都精華で金光藤蔭2回目のタイムアウトを取得するが、京都精華の容赦ないオールコートディフェンスに苦戦する。点差は縮まらず、金光藤蔭56-119京都精華で試合終了。最後まで攻撃の手を緩めず、シュートチャンスを作り続け、ディフェンスでも足を止めることなくボールに食らいついた金光藤蔭、他を圧倒する技術力と連携プレーで戦い抜いた京都精華、両チームに賞賛を送りたい。